

参考資料 2

令和5年度第2回ヤクシカWG合同会議における主な意見・助言等に対する今後の取組方向

課題		主な意見・助言等	関係機関	回答等
議事(2) 捕獲等の被害防止対策について	①シャープ シューティング 体制によるヤクシカ計画捕獲	誘引捕獲の際に通信機能付きカメラで出現状況を即時確認した後、出動すると捕獲効率があがる。(鈴木委員)	環境省	ご意見を踏まえ検討を行う。
	②その他	西部地域に特化したWGが必要。(手塚委員)	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	西部地域には不定期の開催であるが、「西部地域の取組についての情報交換会」などが開催されており、これらの場を活用していくべきと考える。
議事(4) 特定エリアの対策(西部地域)について	①西部地域におけるヤクシカ計画捕獲結果	捕獲数を増やす工夫が必要。他の捕獲のオプションも考える必要がある。(矢原委員長、瀬崎委員)	環境省	ご意見を踏まえ検討を行う。
		誘引のされ方と周辺密度から警戒心の高まりを評価することや、撮影頻度について隣接区や対象区と比較することも必要。(瀬崎委員)	環境省	ご意見を踏まえ検討を行う。
議事(5) 屋久島世界遺産地域モニタリング計画の改訂について		※モニタリング計画改訂(案)に対する意見については別途整理。		